

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2019年6月

「〇〇をお祈りしております」

慣用句としていろんな場面で「祈る」という言葉が使われます。初詣で祈ったり、仏壇の前で先祖に祈ったり、交通安全の祈禱をしてもらったり。

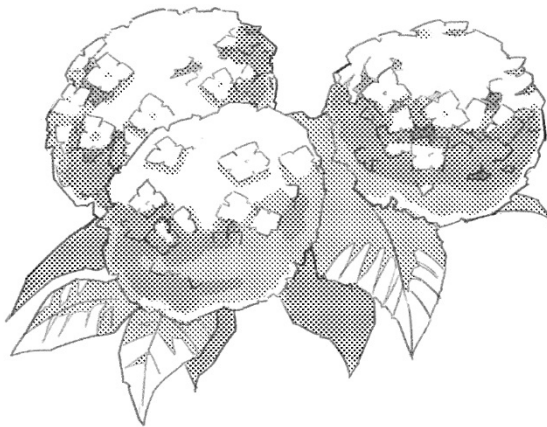
実際のところ、「祈る」とはどういうことなのでしょう。何か決まった言葉を唱えること？ 強く願うこと？ 心を込めて念じること？ トリップして忘我の境地に至ること？

「祈る」場合には対象があるはずですが、でも親や友人に祈るということはありませんね。先生や政治家に祈ったりもしません。もちろん犬や猫にも。何らかの霊的な存在を前提にして、それに対して願ったり語ったりすること……それを「祈る」と表現しているのではないのでしょうか。だから存命の家族に祈ることはありませんが、亡くなって身体的存在から離れた親族には祈るのですね。

祈るってどういうこと？

キリスト教会で「祈る」場合、その対象は天地万物を創造した唯一の神様です。ほんとうに祈りを聞いて、応えることのできる方は、神様ただおひとりだけだからです。

「祈り」というと、何か儀式的な、特別なものに思われるかもしれませんが、「本当の神様」に対する「祈り」とは、会話そのものです。何かの題目を唱えることでも、呪文のように決まり文句を繰り返すことでもありません。家族に、友に、恋人に語るように、人格と人格(神格)との交流が「祈り」なのです。



神様からの返答は、いろいろな形で示されます。聖書に書かれている言葉のある部分が、すごく心に響いてくることもあります。事情を知らない他の人を通して適切な助言がやってくることもあります。

「神様からの語りかけの声」を聞く人もいます。ただしそういう場合でも、偽物の霊からの言葉でないかどうか聖書と照らし合わせて確認する必要があります。なぜなら、人が祈るところに寄ってきて良からぬことを企む霊的な存在(聖書では、それ

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

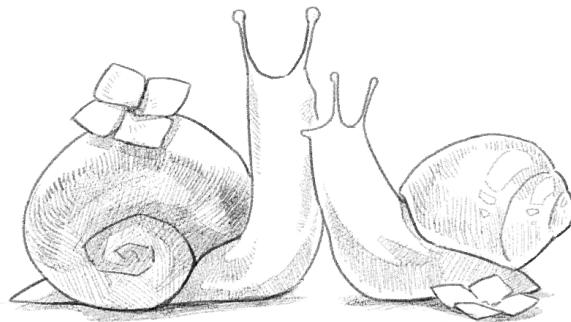
<http://sapporopk.com/>

を「悪霊」と読んでいます)がいるからです。「霊能者」と呼ばれる人たちは、そのような霊的な力を得てさまざまな不思議な能力を発揮しますが、「本物の神様」からの力ではありませんから、後々に人に対して何らかの悪影響を及ぼすこととなります。

もし今、何かを祈ろうとするのでしたら、ぜひとも「本物の神様」に心に向けて祈ってみてください。そして、神様からの語りかけを受け取ってください。

祈ってみましょう

天地を造られた本当の神様。わたしには今、悩みがあります。困りごとがあります。本物の神様に心を開きます。どうか、この状況から助けて下さい。そして、あなたが本物の存在であることがわかるようにして下さい。イエス・キリストの救いがあるようにして下さい。あなたの事を親しく知り、わたしにとっての「最善」をいただきたいと願います。



教会の定期集会のご案内

GP クラブ こどものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)

聖日礼拝 真の神様に賛美をささげ、聖書のことばを聴きます。

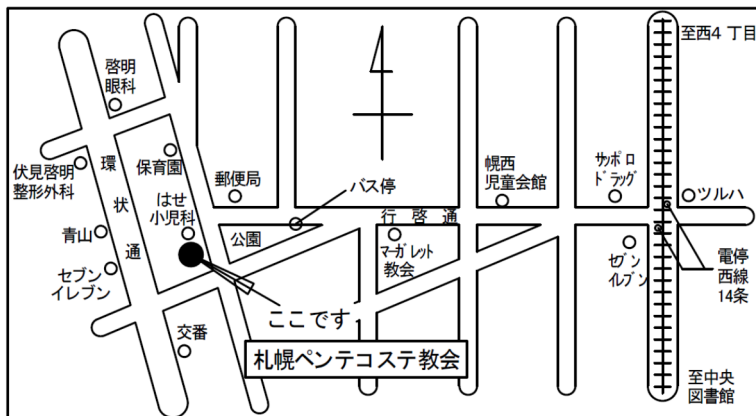
(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)

祈り会 神さまを賛美し祈ります。(概ね月1回、木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、する・しないも、金額も、各自の自由です。その他、ご希望があれば、神様について、イエス・キリストについて、聖書について、ご説明するお時間を取ります。お申し出下さい。

教会のホームページ <http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりできます。



【教会へのアクセス】

西4丁目電停から市電にて
西線14条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南14条西17丁目下車

駐車スペース有